

シリーズ「みやぎ創生最前線」は、2016年度内に5回、原則として毎月第1日曜日に掲載する予定です。宮城県の協力で、河北新報社企画事業部が企画・制作しています。

みやぎ創生 最前線

鼎談

東日本大震災からの復興と「富県共創」へ向けた動きを紹介している連載「みやぎ創生最前線」。今回は特別編として、震災後に新たな潮流を生み出そうと奮闘する若手起業家、一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンの阿部勝太代表理事と気仙沼ニッティングの御手洗瑞子代表取締役社長を招き、村井嘉浩知事と語り合ってもらった。創業のきっかけとなった震災を振り返りながら、話題は事業拡大への思いから、地域との関わりや活性化にも及んだ。



阿部 勝太氏

あべ・しよつた 1986年生まれ。石巻商高卒。卒業後は仙台をへはじめ、東京、愛知県内に会社に勤務。2009年、阿部の父が東日本大震災の津波で家業は壊滅状態だったが、11年11月に地元漁業と「フィッシャーマン・ジャパン」を設立。代表理事となり、再スタートを切る。

阿部 私たちの新たな試みには、地域から抵抗がありました。地域に根付き持続する産業をつくりたいと話すうち、気仙沼に編み物の会社を立ち上げることにしました。後で知ったのですが、漁師たちは手編みの文化があったのです。設備がなくても始められる事業で、お客さまに喜ばれる良質なセーターを編めば、事業として成立するの見込みがありました。

発信 彼の地域のモデルに 阿部氏

村井 富県共創を掲げる宮城県は地域を元気にするため、民間の活力をいかに使うかという点に力を注いでいます。行政の役割は民間が活動しやすい社会をつくりだすことと、御手洗 販路開拓などは、面を行政に整備してもらえれば、民間の力が圧倒的に強いのと助かります。新しいことを始めるのは格好いいという雰囲気づくりをお願いしたいです。

阿部 私たちの事業は、被災後は漁業者の研修会や交流会に積極的に参加。14年7月に石巻市や南三陸町など沿岸部の若手漁師、食品加工関係者ら14人で「一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン」を設立。代表理事に就き、漁業体験イベント、担い手育成などの事業も手掛ける。

若手起業家 被災地を元気に

出席者 フィッシャーマン・ジャパン代表理事 阿部 勝太氏 宮城県知事 村井 嘉浩氏 気仙沼ニッティング代表取締役社長 御手洗瑞子氏



事業の展望や地域の将来像を巡って意見を交わす(左から)阿部氏、村井氏、御手洗氏

阿部 震災後、消費者の安全・安心志向が強まり、産地や作り手が重視されるようになりました。生産者が消費者に近づくことで海産物の魅力がより伝わっていくのではないかと考え、東京で飲食店を出したリベントを開いたり、ファンを増やす取り組みを入れています。販路が広がれば、水産事業者の雇用を10年で千人生み出すという目標も実現できると思います。

村井 日本は人口が減少する中で国内のビジネスには限界があるので、海外でのテストマーケティングが安全・安心志向が強まり、産地や作り手が重視されるようになりました。生産者が消費者に近づくことで海産物の魅力がより伝わっていくのではないかと考え、東京で飲食店を出したリベントを開いたり、ファンを増やす取り組みを入れています。販路が広がれば、水産事業者の雇用を10年で千人生み出すという目標も実現できると思います。

発展 村井氏 販促活動 行政後押し

御手洗 御手洗 地域に人を呼び込むには、地元の人たちが地域のいいところを発見し、コンテンツをつくって発信することが大切です。気仙沼ニッティングの商品はオンラインでも購入できるので、毎週のように九州や関西などといった遠方からもお客さまが来てくれます。気仙沼は遠いけれど、だからこそエキゾチックで、東北の遠洋漁業の街で質の良いセーターが生まれたことに興味を湧かすのがいいです。特に気仙沼に店舗を開く構想もしています。

発端 復興へ生業取り戻す 御手洗氏

御手洗 津波によって石巻市の自宅だけでなく、船業にや資材などあらゆるものを失いました。どうせゼロから再建するのなら、新たな展開を考えようという覚悟を決めました。それまでの水産

御手洗 震災前はプーターで暮らしていましたが、強い思いに駆られたので、復興で何より大切なものを取り戻したいという思いがありました。東北を津波が襲う映像を見て、胸がつかれるような衝撃を受けました。被災地の復興に役立ちたいという思いで、御手洗 津波によって石巻市の自宅だけでなく、船業にや資材などあらゆるものを失いました。どうせゼロから再建するのなら、新たな展開を考えようという覚悟を決めました。それまでの水産

阿部 私たちの新たな試みには、地域から抵抗がありました。地域に根付き持続する産業をつくりたいと話すうち、気仙沼に編み物の会社を立ち上げることにしました。後で知ったのですが、漁師たちは手編みの文化があったのです。設備がなくても始められる事業で、お客さまに喜ばれる良質なセーターを編めば、事業として成立するの見込みがありました。



御手洗瑞子氏

みらい・たまご 1985年生まれ。東大経済学部卒業。学生時代から海外での活動を視野に入れ、米大手経営コンサルティンク会社、マッキンゼーの日本支社に勤務。全国展開するプロジェクトで東北エリアを担当し、仙台市内を拠点として事業に携わった。退社後の2010年、プーターに就任した。

阿部 私たちの新たな試みには、地域から抵抗がありました。地域に根付き持続する産業をつくりたいと話すうち、気仙沼に編み物の会社を立ち上げることにしました。後で知ったのですが、漁師たちは手編みの文化があったのです。設備がなくても始められる事業で、お客さまに喜ばれる良質なセーターを編めば、事業として成立するの見込みがありました。

セキスイハイム Unit Technology for the Future 初売 東北モデルの あったかハイム 初売限定価格でご提供! 詳しくはお近くの展示場へ!

進化した東北モデルの あったかハイム 東北の冬でも家じゅう「あったか」で快適な暮らしを実現します。 ウォームファクトリー、快適エアリー、トリプルガラス樹脂サッシ、基礎断熱、ZEH<ゼロ・エネルギー・ハウス>基準対応